

Bulletin

2012

Vol. 233

1

The Japan Institute of Architects Kanto-Koshinetsu Chapter



特集：UIA2011 東京大会レポート

COLONNADE

- ・UIA2011 東京大会を振り返って _____ 構想建築設計研究所 上浪 寛 2
- ・支部推進委員会辛口顛末記 _____ 林魏建築設計事務所 赤羽吉人 3

シンポジウム

2050年の建築家を考える / 災害における専門家の国際連携と支援活動
災害復興・グローバルデザインを考える / AID40@TOKYO

展示・ワークショップ

一万人の世界建築家展 / JIA 全国学生卒業設計コンクール / 建築大学展 / 世界住宅会議 “家って何だろう?”
建築家のあかりコンペ 2011 / UIA 千人茶会レポート / JIA ゴールデンキューブ賞 2011 展覧会

ツアー・街歩き

丸の内街歩き / 渋谷探索トレッキング / 神田を歩く / 江戸巡り / 中央の街

FORUM

- ラファエル ヴィニョーリの傍で見た東京 _____ Rafael VinolyArchitectsPC 豊田 慧 12
- 「日本建築家協会は何の為にあるのか」 _____ 大宇根建築設計事務所 大宇根弘司 14
- 地域社会との交流から _____ 八田雅章建築計画事務所 八田雅章 15
- 風景 _____ フジデザインスタジオ 藤井兼祐 15
- 第2回地域サミット (in 水戸市) 開催報告 _____ 林魏建築設計事務所 赤羽吉人 16
- 「第24回世界建築会議 UIA2011 TOKYO に参加して」 _____ ヒガノ 立石博巳 17
- 「横浜市における歴史的建造物に関する要望書」について _____ カサイ アーキテクチュラル デザイン 笠井三義 18
- 建築相談・鷹・コミュニティアーキテクト _____ こうだ建築設計事務所 三浦清史 19
- 第1回 JIA トーク『自分らしく生きる美しさ』Noli さん _____ 竹内裕二建築設計事務所 竹内裕二 20
- 第2回 JIA トーク『子宮はものを考える、そして頭がいい』服部一志さん _____ Studio PRANA 林 美樹 21
- 4年目の杉並土曜学校 - 地域をつなぐ - _____ アーキタイプ建築設計事務所 菊地 守 22
- 新宿地域会活動報告 _____ _____ 23
- 選挙公報 _____ _____ 23
- 保存問題栃木大会「大谷石の可能性を探る」 _____ フケタ設計 佐藤公紀 26

BACKYARD

- 支部ダイジェスト _____ 27
- 映画紹介 _____ ヒガノ 立石博巳 27
- 編集後記●UIA大会を終えて _____ 27



特集：UIA2011 東京大会レポート

「建築家のあかりコンペ 2011」

あかりコンペWG主査

中村 雅子

■ 5回目を迎えた今回は UIA 公認プログラムとしての国際コンペとなりました。

応募総数 106 (海外 26、国内 80) 世界 30 カ国から作品が集まりました。最優秀賞は韓国のヨンホ・シン氏「光の蕾 / Light bud」。災害時に街灯の照明部分が風船のように舞い上がり、夜空を明るく照らす「キボウのあかり」となり、人々が自然と上を見上げるという行為をデザインしていました。「3.11」を踏まえ今回のテーマ「ミライのあかり・キボウのあかり」を的確に捉えた提案でした。

私はアルペール・ラモリスの映画「赤い風船」を思い起こしました。赤い風船のように子供の後を追って、明かりを灯すようなロマンチックな子供心の持ち主なのでしょう。優秀賞はセルビアのマリーヤ・マーティノビッチさんと、日本の藤野高志さん。入賞された7名のうち海外は、韓国、セルビア、フィンランドと3名。残り4名が日本と、文字通りの国際コンペとなりました。公開2次審査も国際色豊かな100名を超える来場者の中で、レクチャーと司会進行も日英織り交ぜた内容となり、次回への更なるステップが楽しみです。関係各者のご尽力に感謝しつつ飛躍してまいりたいと思います。

英語名 Architectural Lighting Design Competition 2011
 主催者 社団法人日本建築家協会 / 大光電機株式会社
 実施日程 非公開1次審査 8月25日(木) 10:00 ~ 13:00
 展示会 9月26日(月) 10:30 ~ 17:30
 公開2次審査 9月26日(月) 15:30 ~ 17:45
 実施場所 JIA 会館 (1次審査) / 東京国際 FORUM G610

審査員リスト

- ・審査委員長 建築家 内藤 廣
- ・審査委員 ライティング デザイナー 内原 智史
- 建築家 永山 祐子、建築家 マーク・ダイサム、大光電機株式会社 代表取締役社長 前芝 辰二

入賞者リスト作品名

- 【最優秀賞 (First Prize)】
Mr. Yong-Ho Shin from South Korea / 光の蕾 (Light bud)
- 【優秀賞 (Second Prize)】
Ms. Marija Martinovic from Serbia / motus
Mr. Takashi Fujino from Japan / 発泡灯 (Happoto)
- 【佳作賞 (third prize)】
Mr. Atsushi Takano from Finland / Light of the future, light of hope
Mr. Katsuhide Imai from Japan / ヒカリノカケラ
Mr. So Sugita from Japan / 光の支え (Glowing Cane)
- 【DAIKO 賞 (Daiko Prize)】
Mr. Yasuyuki Kuwata from Japan
/ Illumination the light, Illumination the geometry shadow



内藤審査委員長を囲み記念撮影



最優秀賞 ヨンホ・シンさん (韓国) 日本語と英語によるプレゼンテーション



120名で満員御礼の公開2次審査後方に作品パネルを展示。世界30カ国からの応募案106作品はいずれも力作ぞろいでした。

UIA 千人茶会レポート

東海支部 UIA 千人茶会実行委員長

服部 滋

■ UIA 千人茶会は9月27、28日の両日、東京国立博物館の裏庭にある、九条館、応挙館、六窓庵、転合庵、春草廬の5つの茶席を使って開催されました。ある程度は準備したつもりでしたが、前日の準備中にお手伝いいただいた吉田会 (表千家) の皆さんとのコミュニケーション不足が露呈したばかりか、雨で受付や野点席など屋外の準備が不十分のまま本番を迎えました。

予約制ではないため客足が心配されましたが、博物館で役員会を開催していただいた中国支部、九州支部、東海支部の方々をはじめ吉田会の関係者が、準備の整わないうちに大勢おみえになり、杞憂に終わったところか、一転てんでこ舞いの状態に突入しました。しかし、担当の部署で各人が機転を利かして対応していただき、事なきを得ました。



国際色豊かな野点席

結果は、34カ国160名以上の外国人を含む800名を超える方に入場していただきました。(入場時に記名をお願いしましたが、記名されない方も多く正確な数はつかめておりません) 運営側で、吉田

会、JIA メンバー、ボランティアが1日150名近く参加しておりますので、文字通り1000人を超える盛大なお茶会となりました。お菓子を提供していただいた全国各支部の方々や、当日お手伝いいただいた、関東甲信越支部の三木さん、鯨井さん、中国支部の僊石さんをはじめ多くの方々のご助力で好評のうちに終われたことを感謝いたします。

JIA マガジン11月号にも顛末掲載しました。あわせてお読みください。



転合庵の芦原会長



応挙館の様子